

丘珠空港の将来像に関する論点等について

論点 1 ■ 各滑走路長毎のメリット・デメリット等の明確化について	
第 2 回検討委員会 での意見	<ul style="list-style-type: none">• 活性化するにあたっては滑走路の問題が第一になってくるので、将来を見越して、滑走路をどのようなかたちで、どこに着地点を求めるかが、まず、優先されるべきかと思う。• 現状の滑走路で出来ることは非常に限られており、滑走路を延伸しないということで考えると積極的な利用はむしろすべきではないと思っている。• 活用について現実的な選択をするときには時間との戦いという側面があるので、各取組の期間を整理してもらい、今後、時間のイメージを明確にもった上でどうするかという議論ができるようにしてほしい。• 新千歳空港の被災時の代替になることや、他の道内空港をみても 1,800~2,000m の滑走路があることから、2,000m に延伸した方が良い。丘珠空港から東京に行けるとなれば予算も増えるし、利用客も増える。また、防災基地として分散している施設を集約するとともに、メディカルウイングの就航も期待できるほか、現在新千歳空港と結んでいる稚内・女満別・中標津という地域に就航することによって道内空港の拠点という事を丘珠空港で位置付ければもっと利活用できると思う。• 滑走路延伸するかしないかで出来る事が変わってくるというのは、以前の議論で整理したところではあるが、次回までに再整理してほしい。事実、延伸しないと出来ないことは結構ある。• 滑走路延伸により、経済・観光・医療・防災の面でどのくらい効果があるのかという部分が現在の資料ではほとんど出てきてないため、どの滑走路長かを判断するには情報として足りない。プラスと騒音等のマイナスの部分を明確な形で示していく必要があると思う。• 効果や便益については、どういう形態で空港を利用するかという事で効果が見えてくるものであり、逆に言うとどういう空港を 5 年や 10 年で目指すかという事にくっついてこの場合はここまで効果があるという事や、デメリットも整理しないと、どれが良いかという事が整理しにくい。

第2回検討委員会
での意見

- 新千歳空港との役割分担を明確にしていくことが大事である。もう少し、丘珠空港の役割に関してポイントを絞っていく必要があり、その中で滑走路の延長が必要であるならば、それに応じた対応をしていくというのが議論を深めていくためには必要。
- 滑走路を延伸しないということになれば、空港施設を活用した子供への教育の場やイベント等、ソフト面での活用を重点に置いて利活用を進めていくのが良い。
- 今回の論点では、あらゆる可能性を挙げてもらったが、ここからどう絞り込むかという中では、丘珠空港らしさ、空港の立地特性に合った活用という方向の議論にもっていかなければいけない。
- 2,000mに延伸することとし、樽前山が噴火する等の災害時に、新千歳空港で運航している便を、一部丘珠空港でも運航できるようなことは考えていかなければいけない。
- 札幌の人口は、道内で一番多く、医療水準も高いことから、メディカル空港として大いに活用しなければならず、早く整備をし、医療面を充実させていきたい。
- 百合が原公園やモエレ沼公園等、空港周辺には観光の軸となるような施設があるが知名度が低かったり、交通の便が悪いという事があるため、空港を核として周辺地域をどうするかという議論が必要になる。
- 交流人口を増やすうえでも、丘珠空港はこの地域の核になると思う。今後、定住人口が少なくなることは間違いないがこの地域のまちづくりをどのようにしていくかという面では、交流人口という視点も非常に重要だと思う。
- 時間軸の面で言えば、人命が関わることや、今後の大きな災害等を考えると、やはり医療・防災については急がざるを得ない問題だと思うので、そこも重視して計画を作してほしい。
- 医療・防災という観点からは、丘珠空港は民営化すべきでは無いと思っている。国策や北海道の施策として医療・防災は公共がやるべきである。さらに1,800mくらいあると冬期も含めて運用が図れるというのが一番の部分であり、時間的な問題も含めてそこまで踏み込んで皆が合意できるかどうか。
- 防災対策として、立川の防災施設にあるような、会議室や通信関係も全てできる施設を準備することが近づいている。
- 防災拠点の話は、行政主導である程度どう作るかの調整も出来るかと思うので、可能性がどこまであるかについては少し検討してもらい、どういう位置付けをするか議論をさらに深められればと思う。

第2回検討委員会
での意見

- 少子高齢化により、経済が縮小していく中、滑走路延伸については慎重に考えるべきであり、現状の丘珠空港でも出来ることは何なのか、現状何が欠けていて、莫大な費用を使わなくても出来ることは何なのか、持続可能な丘珠空港は何なのか、そういった視点が現在の検討で抜けている。
- 札幌市全体の都市計画、まちづくりの中で丘珠空港をどう置くのかという事を少しきちんと位置付けるべき。
- まちづくりを考える際に、丘珠空港周辺にはモエレ沼公園やつどーむ等、豊かなリソース、資源が沢山あるが、回遊性をつくる仕組みという視点が無い。景気が悪くなると「安い・近い・短い」に流れるため、市民が気軽に公園に行くとかそういう回遊性を担保しておくことで利用客減少へのバッファが作れるという事がある。
- 少子高齢化というのは重要な視点であるが、一方でインバウンドの方が増えてたくさん札幌に来ている等、10年前とは大分違う状況になっている。また、北海道新幹線の札幌延伸により道南との距離が縮まるが、その他の道東や道北との地域との均衡のために1時間程度で移動できる機能は、少子高齢化の中で何とかそれぞれの地域の方が生きていくために必要な機能だと思う。
- 道内7空港の民間委託で提案している道内のLCCが面で実現したら、丘珠空港が札幌から少し近いことだけをメリットにして道内航空の拠点だというのは、何の意味もなさなくなることが十分起こりえるため、料金ゾーンを今よりどう下げるかという施策は絶対入れていかなくてははいけない。
- 航空局や世界中の都市型空港で一番恐れているのはサイバーテロである。北海道、あるいは札幌市を中心にして、まずは安全性の確保が必要である。
- まず医療・防災の観点で公共がやっていくべきだが、その次に、もっと民間を入れて儲かる空港にするとか、コンセッションの仲間入りしてもっと稼ぐ空港にするとか、民営化にもう一步踏み込むかどうかというところが、丘珠空港は日本全体で滅多にないくらい可能性がある。医療・防災というシビルミニマムのために1,800mにするか、現状の滑走路長でやれるところまでやるか、冬期利用は本当に無理なのか、そのあたりを含めての議論の整理かと思う。

論点4

■ 将来像実現にあたっての取組期間について

第2回検討委員会 での意見

- 滑走路が延伸すれば通年運航したいという現実のニーズはいくつかあるという事を聞いていますが、それはいつまで有効な話かという事があるため、やはりスケジュール感を明確にした上で、きちんと位置付けることが出来れば、延伸ということにもっと前向きになれると思う。
- 滑走路延伸には10年ほどかかるので、時間の無い中で早く決めないと、延伸するという事にはならないと思う。
- 各取組の想定スケジュールを見てみると、運航機会の拡大の取組については、運用時間の延長と滑走路延伸が一緒になっているが、運用時間は地元の了解があれば今の状況でも出来るということであったり、駐機場・格納庫等の増設については、滑走路延伸と同時進行になるのではという事があり、スケジュールの区分けの仕方をもう少し丁寧にした方が、取組案と関連付けて考えられると思う。

論点5

■ 空港周辺地域への配慮について

第2回検討委員会 での意見

- 今後消防の拠点が出来るのであれば、現状でも自衛隊や道警がいるのでそれらも活かして、子供の教育を行う施設やキッズニアのような企画を行えば、地域を巻き込んだ盛り上げ方が出来ると思う。
- 騒音については地域にとってはシビアな問題なので、地域住民の気持ちに添えるようなかたちで考えていかなければいけない。
- 丘珠地区は下水道が整備されていない地域もあるが、住民にとって、空港の利活用がきちとしたかたちでまとまった際には地域の開発にも繋がると思っている。
- 市民に丘珠空港及びその周辺地域について親しみを持ってもらおうというのは非常に重要である。航空機騒音というのはうるさいものであるが、好きな人にとってはそうではないため、せつかくあるのだから好きになってもらうということも焦らずやるべきである。
- 一番ネックになるのは、新しい地元合意の作り方である。丁寧に地元合意を作る時間をどうやって担保するかというのは、工期よりも全体の期間に影響を及ぼさずである。その中で、地元の方には非常に多様な意見があると思うので、繰り返し膝を突き合わせて話し合うという場に丁寧に時間をかけることが長い目で見て近道になると考えている。
- 昨年の空港周辺地域での説明会では、地域住民は検討内容についてまだまだ疑問点が多く、もう理解できたという雰囲気ではなかった。
- 地元案は地域の中で生き続けているので、大事に扱ってほしい。令和2年度の住民説明会では地域住民の地元案にかかわる思いというものを丁寧に吸い取ってもらいたい。
- 百合が原公園での騒音の最大値が89dBであり、パチンコの店内と同等の数値である。いくら環境基準を満たしているといっても、地域住民としては最大騒音レベルで感じてしまう。

第2回検討委員会
での意見

- ビジネスジェットについて、現状の空港施設そのものがまだまだ暗いイメージがあるので、今後富裕層を呼び込むのであれば、イメージアップやおもてなしの対応が受けられるようなかたちがあっても良い。
- 最近ニセコに富裕層が来ているので、丘珠空港から富裕層が直接行けるようなものを取り込んでいく案もあると思う。